

広瀬川中州林伐採反対

反対班：羽鳥、紀国、鹿島、古屋、
歌代、永吉、横田

そもそも本当に伐採は必要？

治水

環境

景観

環境への配慮の視点から



植物

その他、20種類以上の草木



イタヤカエデ



ネコヤナギ



ヤマユリ

広瀬川にとっては
大事な中洲！

昆虫の中洲

の自由が
環境に
生存

生態系の重要な
構成員

名前に「カワラ」が
つく昆虫は稀少で
あり、攪乱される砂
礫地を好むが...

広瀬川で見られる昆虫



カワラバッタ



コムラサキ



トビケラ

<http://www3.tokai.or.jp/grasshopper/2004/2004-8-1.html>

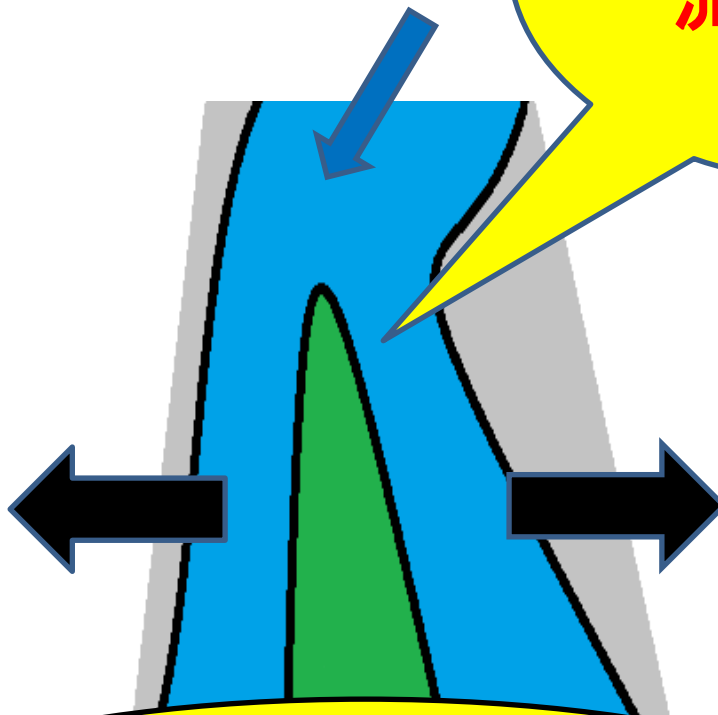
<http://www.digital-museum.hiroshima-u.ac.jp/~insect/Insects-Notes/Insects/Trichoptera/Rhyacophilidae/Rhyacophila%20nigrocephala.htm>

http://www.city.sendai.jp/wakabayashi/c/miryoku_mizube_ikimono.html

<http://d.hatena.ne.jp/yamatsutsuji/20100513/1273758845>

水生昆虫の生息環境

中洲の両側で
流速が違う



中洲が生態系を豊かにしている



<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%AB%E3%83%AF%E3%82%B2%E3%83%A9>



<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%AB%E3%83%AF%E3%82%B2%E3%83%A9>

鳥類～広瀬川周辺に生息が確認～

絶滅危惧Ⅰ類	オジロワシ
絶滅危惧Ⅱ類	オオタカ、チュウヒ、ハヤブサ、コアジサシ、トモエガモ
準絶滅危惧	ミサゴ、ハイタカ、オオジシギ

※近い将来野生での絶滅の危険性が高い種
現在の状態が続くと近いうちに絶滅危惧Ⅰ類に移行する危険のある種
現時点で絶滅危険度は小さいが、生息環境の変化によって、絶滅危惧ランクに移行する種

鳥類



チュウヒ



トモエガモ

魚類

産卵

時の避
場所

餌場





愛宕橋付近

既に中洲が撤去されている

河岸が全面コンクリートで覆われている

散歩をしていた住民より
「中洲がなくなって殺風景になってしまった。以前は釣りをしている人も見たが今では見ないし、無機質な川は悲しい」

住民の声 ～緑の浮島(野鳥たちのサンクチュアリ)～

この中州に生息していたキジたちはいなくなり、オオタカやノスリ、キツツキ類の姿を見かけることも無くなりました。昨年春には広瀬川の風物詩、ウグイスの合唱も聞かなくなりました。



東北の温泉バカ「ken
のやう」

log_4http://www.hirosegawa-net.com/blog_4/2010/06/part2_2.html/2010/06/part2_2.htmlより

治水の観点から



氾濫の種類

- 氾濫には2つの種類がある
- 外水氾濫→河川そのものの水位が上昇して起こる水害。
- 内水氾濫→**市街地の処理能力を超えた雨**が降るなどして堤内地で起こる水害。
- 中州林伐採は主に外水氾濫を防ぐためだが
.....

外水氾濫の頻度は減っている

- 戦後、カスリン台風(1947年9月)、アイオン台風(1948年9月)などの大規模水害を契機に堤防やダムを整備が進み、**外水氾濫は急激に減っている。**
- 仙台市では**昭和25年以降、河川堤防の決壊は起こっていない。**(仙台市のホームページ)



昭和25年の大雨

- 昭和25年の洪水時の広瀬川流量 $2260\text{m}^3/\text{s}$



大倉ダム建設！！

- 昭和25年の大雨が来ても流量は $1800\text{m}^3/\text{s}$ に抑えられる
- 現在の広瀬川の容量は $2200\text{m}^3/\text{s}$

現在の堤防・ダム施設で十分対応可能！！

内水氾濫の頻度は増えている



1986年の台風10号8月4-5日
国道45号苦竹インター付近
宮城県ホームページより

内水氾濫の頻度は増えている



2010年7月26日の大雨中の地下鉄
仙台駅

<http://blog.livedoor.jp/takahashisika/archives/2010-07-27.html>



2010年7月26日の大雨中の地下鉄より水を吸い
上げている救急車

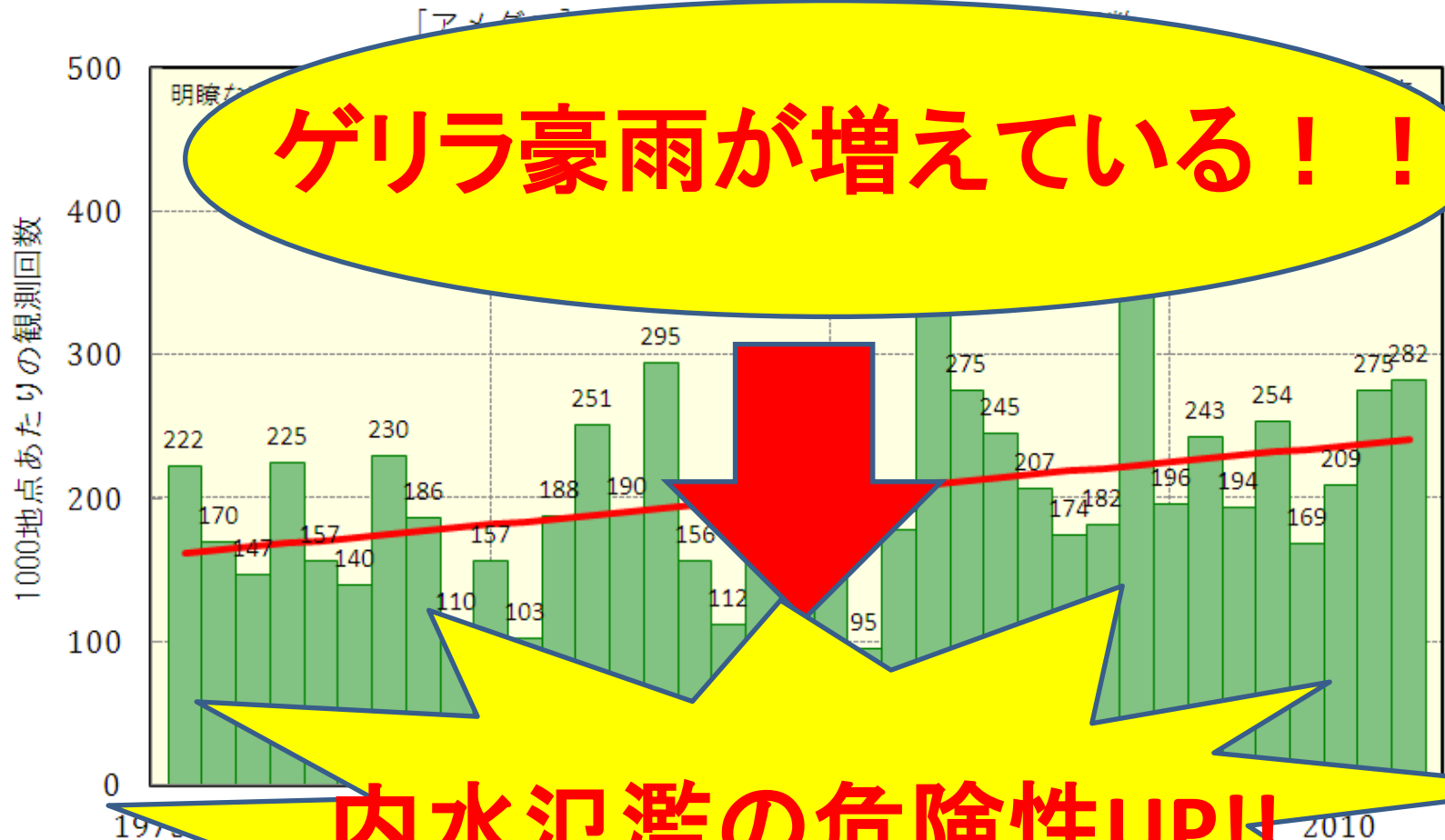
<http://noriyuki.cocolog-nifty.com/blog/2010/07/726-Off2.html>

内水氾濫増の要因

温暖化

市街化

内水氾濫が増えている背景



ゲリラ豪雨が増えている!!

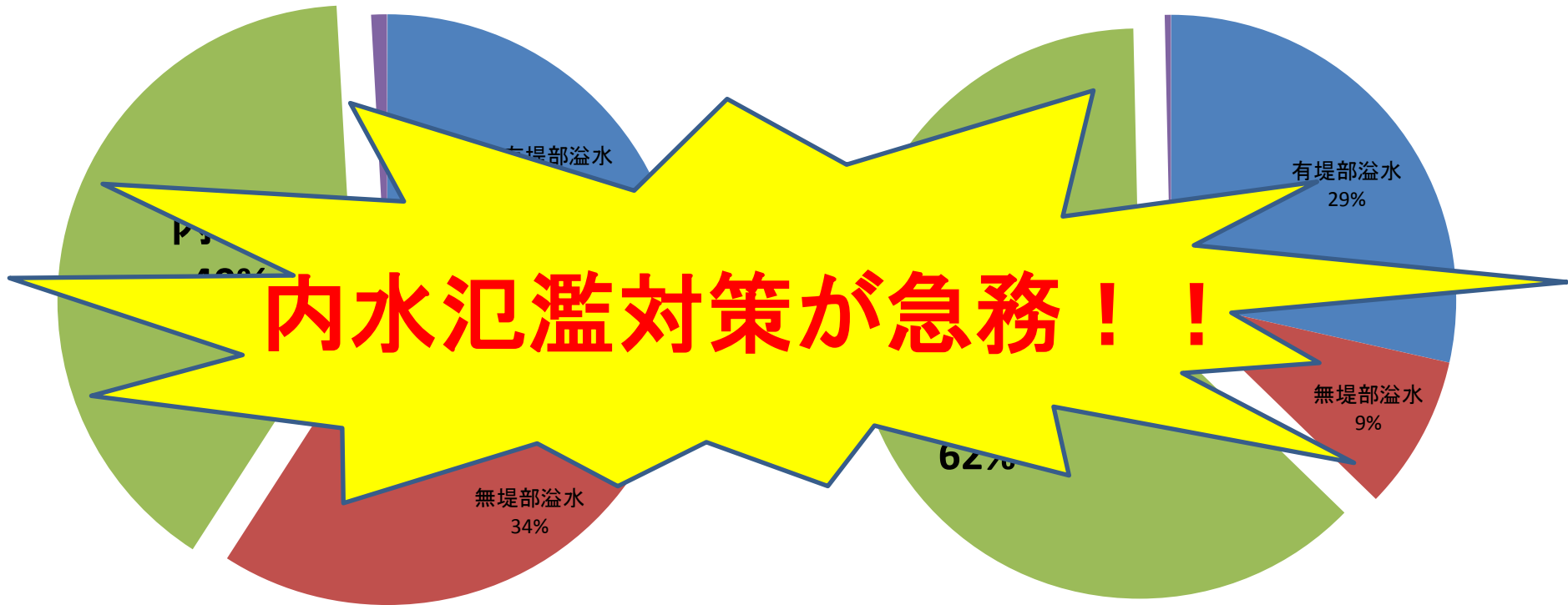
内水氾濫の危険性UP!!

都市部の下水道の多くは1時間あたり50ミリの雨量を基準に設計されている

氾濫被害額の割合

全国

宮城



参考：国交省 水害統計調査(H21)

まとめ

環境

- 中州は生物の貴重な住処
- 景観への配慮

治水

- 外水氾濫は減っている
- 内水氾濫対策が急務

結論：伐採をする必要はない

ご静聴ありがとうございました！

